



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月14日

上場会社名 伊豆シャボテンリゾート株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6819 URL https://izu-sr.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北本 幸寛
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室室長 (氏名) 桑原 亮介 (TEL) 03-5464-2380
 定時株主総会開催予定日 2024年6月26日 配当支払開始予定日 2024年6月27日
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月27日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	4,648	37.1	900	39.8	954	37.6	323	△32.2
2023年3月期	3,390	40.8	644	232.6	693	221.5	477	145.4

(注) 包括利益 2024年3月期 259百万円(△46.3%) 2023年3月期 483百万円(136.9%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	17.77	17.52	7.9	16.3	19.4
2023年3月期	33.51	33.46	15.8	15.9	19.0

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 10百万円 2023年3月期 △21百万円

(注) 当社は、2023年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	6,724	4,943	73.1	269.65
2023年3月期	4,947	3,278	66.0	229.45

(参考) 自己資本 2024年3月期 4,915百万円 2023年3月期 3,266百万円

(注) 当社は、2023年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	983	△588	△476	1,769
2023年3月期	983	△437	370	1,751

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2023年3月期	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	—	—
2024年3月期	0.00	0.00	10.00	10.00	10.00	182	56.3	4.0
2025年3月期(予想)	0.00	0.00	10.00	10.00	10.00		28.0	

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	5,000	7.6	1,010	12.2	1,040	9.0	650	101.0	35.66

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）株式会社伊豆ドリームビレッジ、除外 1社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	18,248,268株	2023年3月期	14,248,268株
② 期末自己株式数	2024年3月期	18,474株	2023年3月期	12,824株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	18,189,928株	2023年3月期	14,235,677株

(注) 当社は、2023年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	850	264.3	633	—	634	—	316	—
2023年3月期	233	17.4	19	28.4	18	676.9	16	△29.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	17.38	17.12
2023年3月期	1.14	1.14

(注) 当社は、2023年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	2,373	2,316	96.4	125.52
2023年3月期	847	636	73.7	43.88

(参考) 自己資本 2024年3月期 2,288百万円 2023年3月期 624百万円

(注) 当社は、2023年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが5類に移行し、経済活動の正常化やこれに伴うインバウンド需要の回復が進み、人流の回復や個人消費及び雇用環境に持ち直しの動きがみられる等緩やかな景気の回復傾向が続いております。一方ウクライナ情勢の長期化やエネルギー価格の高騰など物価の上昇や金利差を背景とした円安の継続により、先行き不透明な状況は続いております。

このような状況下で、当社が展開する各レジャー施設では、経営理念である「ステークホルダーと共に」及びブランドスローガンである「ご来園者の笑顔のために」の元に、各施設の入園者数と売上確保に努めております。

当連結会計年度の業績は、売上高4,648百万円（前期比37.1%増）、営業利益900百万円（前期比39.8%増）、経常利益954百万円（前期比37.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益323百万円（前期比32.2%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当連結会計年度の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

①レジャー事業

レジャー事業は、株式会社伊豆シャボテン公園が運営する伊豆シャボテン動物公園をはじめとする伊豆半島に所在する各公園からなります。売上高は3,355百万円（前期比8.8%増）、セグメント利益は784百万円（前期比27.9%増）となりました。

なお、当連結会計年度の来場者数は、前年同期と比較して2千人多い1,634千人となりました。

②アニタッチ事業

アニタッチ事業は、株式会社伊豆シャボテン公園が運営するアニタッチみなとみらいをはじめとする全国5カ所にある動物ふれあい施設であるアニタッチ各施設からなります。売上高は642百万円（前期比112.8%増）、セグメント利益は106百万円（前期比44.4%増）となりました。

なお、当連結会計年度の来場者数は、前年同期と比較して242千人多い446千人となりました。

③ホテル事業

ホテル事業は、株式会社伊豆ドリームビレッジが運営する伊豆シャボテンヴィレッジをはじめとする各宿泊施設からなります。売上高は649百万円、セグメント利益は58百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて160百万円増加し、2,349百万円となりました。これは主として、売掛金及び契約資産が99百万円増加したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1,616百万円増加し、4,375百万円となりました。これは主として、のれんが821百万円増加したこと等によります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べて1,777百万円増加し、6,724百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて104百万円増加し、738百万円となりました。これは主として、1年内返済予定の長期借入金が増加したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて7百万円増加し、1,041百万円となりました。これは主として、その他に含まれる資産除去債務が増加したこと等によります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて111百万円増加し、1,780百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて1,665百万円増加し、4,943百万円となりました。これは主として、株式交換により資本剰余金が増加したこと等によります。

1株当たり純資産は、前連結会計年度末に比べて40円20銭増加し、269円65銭となりました。また自己資本比率は、前連結会計年度末の66.0%から73.1%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて18百万円増加し、1,769百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は、前連結会計年度より0百万円増加し、983百万円（前連結会計年度は983百万円の資金獲得）となりました。これは主として、税金等調整前当期純利益627百万円の獲得によります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、支出した資金は、前連結会計年度より150百万円増加し、588百万円（前連結会計年度は437百万円の資金使用）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出439百万円によります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、支出した資金は、前連結会計年度より846百万円増加し、476百万円（前連結会計年度は370百万円の資金獲得）となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出449百万円によります。

(4) 今後の見通し

当社グループは、各公園及び各アニタッチ施設並びに各宿泊施設の更なる収益力の強化及び安全・安心確保や、コンプライアンスの徹底など一層の内部管理体制の充実を図ってまいります。

レジャー事業においては、入園者数の増加が顕著に見込まれる伊豆シャボテン動物公園を中心に国内外の観光客をさらに呼び込めるような施策を進めてまいります。

アニタッチ事業においては、4月に開業した既存業態から発展したアニタッチPARKイオンモール太田を軌道に乗せることにより、更なる出店余地のある地域への進出を検討してまいります。

ホテル事業においては、昨年4月にオープンしましたSKY HILL HOTEL伊豆高原の認知度を高めるとともに、グランピング施設においては伊豆シャボテン動物公園や伊豆高原グランイルミといった当社レジャー事業施設とのより一層の協業をはかってまいります。

以上の施策を行うことにより、ステークホルダーの皆様の満足度を向上させるべく継続的な改革・改善に取り組めます。引き続き各施設の全般的な魅力向上（魅力的な運営施設の新設、イベントの拡充、物販の拡充、接客などサービスレベルの向上、効果的な宣伝広告）を重点施策として実施してまいります。

次期（2025年3月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高5,000百万円、営業利益1,010百万円、経常利益1,040百万円、親会社株主に帰属する当期純利益650百万円を見込んでおります。

上記における業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的である判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があるほか、予想自体についても今後変更となる可能性があります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,905,907	1,922,761
売掛金及び契約資産	148,121	247,622
商品等	50,190	74,029
その他	84,286	105,066
流動資産合計	2,188,506	2,349,480
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,705,035	3,697,272
減価償却累計額	△1,156,702	△1,562,584
建物及び構築物(純額)	1,548,333	2,134,688
機械及び装置	302,457	287,316
減価償却累計額	△185,620	△175,379
機械及び装置(純額)	116,836	111,937
土地	78,084	152,484
建設仮勘定	171,069	173,056
その他	441,171	527,577
減価償却累計額	△348,931	△401,899
その他(純額)	92,240	125,677
有形固定資産合計	2,006,564	2,697,844
無形固定資産		
のれん	—	821,294
ソフトウェア	10,538	13,795
その他	10,377	9,654
無形固定資産合計	20,916	844,744
投資その他の資産		
関係会社株式	191,703	180,380
投資有価証券	205,204	158,383
長期化営業債権	3,156	3,156
破産更生債権等	754	754
繰延税金資産	61,641	77,797
その他	272,623	415,899
貸倒引当金	△3,911	△3,911
投資その他の資産合計	731,173	832,460
固定資産合計	2,758,654	4,375,050
資産合計	4,947,160	6,724,531

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	52,951	57,357
未払金	197,729	196,029
前受金	13,980	13,990
預り金	7,027	5,999
1年内返済予定の長期借入金	29,048	67,972
未払法人税等	195,768	191,825
賞与引当金	34,533	48,026
その他	103,131	157,634
流動負債合計	634,169	738,834
固定負債		
退職給付に係る負債	227,877	233,826
リース債務	62,586	57,765
長期借入金	686,782	668,721
その他	57,414	81,658
固定負債合計	1,034,659	1,041,971
負債合計	1,668,829	1,780,806
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	425,232	1,817,184
利益剰余金	2,739,912	3,063,233
自己株式	△12,246	△14,790
株主資本合計	3,252,898	4,965,626
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,414	△49,944
その他の包括利益累計額合計	13,414	△49,944
新株予約権	12,018	28,043
純資産合計	3,278,331	4,943,725
負債純資産合計	4,947,160	6,724,531

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	3,390,266	4,648,493
売上原価	685,527	900,730
売上総利益	2,704,739	3,747,762
販売費及び一般管理費	2,060,617	2,847,381
営業利益	644,121	900,380
営業外収益		
受取利息	30	26
受取賃貸料	1,686	2,795
受取手数料	17,631	1,382
持分法による投資利益	—	10,156
補助金収入	25,292	2,000
その他	32,565	45,444
営業外収益合計	77,207	61,804
営業外費用		
支払利息	1,208	7,029
持分法による投資損失	21,942	—
その他	4,923	1,081
営業外費用合計	28,074	8,111
経常利益	693,254	954,074
特別利益		
固定資産売却益	2,489	158
受取保険金	2,909	8,564
訴訟損失引当金戻入額	4,321	—
特別利益合計	9,720	8,722
特別損失		
固定資産除却損	76,139	1,530
減損損失	—	330,924
その他	—	2,506
特別損失合計	76,139	334,961
税金等調整前当期純利益	626,835	627,835
法人税、住民税及び事業税	216,395	315,729
法人税等調整額	△66,582	△11,214
法人税等合計	149,812	304,515
当期純利益	477,022	323,320
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	477,022	323,320

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	477,022	323,320
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,469	△41,880
持分法適用会社に対する持分相当額	1,326	△21,479
その他の包括利益合計	6,796	△63,359
包括利益	483,819	259,961
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	483,819	259,961
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	425,232	2,262,889	△12,146	2,775,976
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			477,022		477,022
自己株式の取得				△100	△100
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	477,022	△100	476,922
当期末残高	100,000	425,232	2,739,912	△12,246	3,252,898

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	6,618	6,618	—	2,782,594
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益				477,022
自己株式の取得				△100
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	6,796	6,796	12,018	18,815
当期変動額合計	6,796	6,796	12,018	495,737
当期末残高	13,414	13,414	12,018	3,278,331

当連結会計年度(自2023年4月1日 至2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	425,232	2,739,912	△12,246	3,252,898
当期変動額					
新株の発行		1,392,000			1,392,000
親会社株主に帰属する当期純利益			323,320		323,320
自己株式の取得				△2,651	△2,651
自己株式の処分		△48		107	59
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	1,391,951	323,320	△2,543	1,712,728
当期末残高	100,000	1,817,184	3,063,233	△14,790	4,965,626

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	13,414	13,414	12,018	3,278,331
当期変動額				
新株の発行				1,392,000
親会社株主に帰属する当期純利益				323,320
自己株式の取得				△2,651
自己株式の処分				59
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△63,359	△63,359	16,025	△47,334
当期変動額合計	△63,359	△63,359	16,025	1,665,393
当期末残高	△49,944	△49,944	28,043	4,943,725

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	626,835	627,835
減価償却費	245,409	347,647
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	18,340	5,291
賞与引当金の増減額 (△は減少)	16,735	7,147
受取利息及び受取配当金	△30	△26
支払利息	1,208	7,029
為替差損益 (△は益)	△9,357	△1,824
減損損失	—	330,924
持分法による投資損益 (△は益)	21,942	△10,156
訴訟損失引当金の増減額 (△は減少)	△18,568	—
のれん償却額	—	91,254
固定資産売却損益 (△は益)	△2,489	△158
固定資産除却損	76,139	1,530
売上債権の増減額 (△は増加)	△25,209	△57,956
商品等の増減額 (△は増加)	△15,568	△21,372
仕入債務の増減額 (△は減少)	8,341	△2,102
前渡金の増減額 (△は増加)	△11,522	12,345
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△13,375	17,041
未払消費税等の増減額 (△は減少)	48,004	27,036
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	29,107	△16,598
受取保険金	△2,909	△8,564
補助金収入	△25,292	△2,000
その他	12,324	18,413
小計	980,065	1,372,738
利息及び配当金の受取額	30	26
利息の支払額	△1,208	△7,029
法人税等の支払額	△23,960	△392,915
法人税等の還付額	3	0
補助金の受取額	25,292	2,000
保険金の受取額	2,909	8,564
営業活動によるキャッシュ・フロー	983,131	983,385

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△214,507	△16,500
定期預金の払戻による収入	183,007	18,000
有形固定資産の取得による支出	△330,544	△439,254
敷金及び保証金の差入による支出	△27,122	△123,529
その他	△48,736	△27,386
投資活動によるキャッシュ・フロー	△437,903	△588,670
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	400,000	—
長期借入金の返済による支出	—	△449,137
その他の支出	△29,987	△27,145
財務活動によるキャッシュ・フロー	370,012	△476,282
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,357	1,824
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	924,598	△79,743
現金及び現金同等物の期首残高	826,801	1,751,400
株式交換に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	98,096
現金及び現金同等物の期末残高	1,751,400	1,769,753

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、これまでレジャー事業のみの単一セグメントでありました。当期においてアニタッチみなとみらいの好調を機にアニタッチは全国5店舗まで増加しました。また2023年4月に株式会社伊豆ドリームビレッジを子会社化することにより宿泊業へ参入いたしました。

これに伴い、これまでのレジャー事業のみの単一セグメントを改め、これまでのレジャー事業の中で伊豆半島に所在する各公園が提供するサービスを「レジャー事業」、レジャー事業の中で各アニタッチ施設が提供するサービスを「アニタッチ事業」、株式会社伊豆ドリームビレッジが運営するホテルが提供するサービスを「ホテル事業」として、報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「レジャー事業」は、主に、株式会社伊豆シャボテン公園が運営する伊豆シャボテン動物公園をはじめとする伊豆半島に所在する各公園でサービスを提供しております。

「アニタッチ事業」は、主に、株式会社伊豆シャボテン公園が運営するアニタッチみなとみらいをはじめとする全国5カ所にある動物ふれあい施設であるアニタッチ各店舗でサービスを提供しております。

「ホテル事業」は、主に、株式会社伊豆ドリームビレッジが運営する伊豆シャボテンヴィレッジをはじめとする各宿泊施設でサービスを提供しております。

なお、2023年4月4日開催の臨時株主総会において、株式交換による株式会社伊豆ドリームビレッジの完全子会社について承認可決され、2023年4月5日にその効力が発生しました。同社を連結子会社とし、連結の範囲に含めたことで、当連結会計年度より「ホテル事業」に追加しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	連結 財務諸表 計上額
	レジャー事 業	アニタッチ 事業	ホテル 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,085,520	302,005	—	3,387,526	2,740	3,390,266	—	3,390,266
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,085,520	302,005	—	3,387,526	2,740	3,390,266	—	3,390,266
セグメント利益 又は損失(△)	613,110	73,824	—	686,935	△42,814	644,121	—	644,121
セグメント資産	4,297,048	63,232	—	4,360,280	467,214	4,827,495	119,665	4,947,160
その他の項目								
減価償却費	229,290	15,686	—	244,976	217	245,193	215	245,409
のれんの償却 額	—	—	—	—	—	—	—	—
減損損失	—	—	—	—	—	—	—	—
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	341,084	260	—	341,344	—	—	—	341,544

- (注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンターテインメント事業、投資事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の合計額に調整額を加えた額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。
3. セグメント資産の調整額119,665千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産によるものです。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社での現金及び預金及び管理部門に係る資産であります。
4. セグメント資産は、連結貸借対照表の資産合計と一致しております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	連結 財務諸表 計上額
	レジャー事 業	アニタッチ 事業	ホテル 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,355,534	642,638	649,499	4,647,671	821	4,648,493	—	4,648,493
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	10,771	10,771	—	10,771	△10,771	—
計	3,355,534	642,638	660,270	4,658,442	821	4,659,264	△10,771	4,648,493
セグメント利益 又は損失(△)	784,086	106,588	58,142	948,817	△53,137	895,680	4,700	900,380
セグメント資産	4,027,869	414,789	1,654,711	6,097,369	419,466	6,516,835	207,695	6,724,531
その他の項目								
減価償却費	232,671	55,710	58,990	347,373	58	347,432	215	347,647
のれんの償却 額	—	—	91,254	91,254	—	91,254	—	91,254
減損損失	—	31,607	299,317	330,924	—	330,924	—	330,924
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	134,318	283,719	25,216	443,254	—	443,254	—	443,254

- (注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンターテインメント事業、投資事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額4,700千円は、セグメント間取引消去によるものです。
3. セグメント利益又は損失(△)の合計額に調整額を加えた額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。
4. セグメント資産の調整額207,695千円は、セグメント間取引消去△356,815千円、各報告セグメントに配分していない全社資産564,510千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社での現金及び預金及び管理部門に係る資産であります。
5. セグメント資産は、連結貸借対照表の資産合計と一致しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	229.45円	269.65円
1株当たり当期純利益	33.51円	17.77円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	33.46円	17.52円

(注) 1. 当社は、2023年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	477,022	323,320
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	477,022	323,320
普通株式の期中平均株式数(株)	14,235,677	18,189,928
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	21,339	268,562
(うち新株予約権(株))	(21,339)	(268,562)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要		—

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	3,278,331	4,943,725
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	12,018	28,043
(うち新株予約権(千円))	(12,018)	(28,043)
(うち非支配株式持分(千円))	(—)	(—)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	3,266,312	4,915,681
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(株)	14,235,444	18,229,794

(重要な後発事象)

該当事項はありません。